

「リズムに のって あそぼう」

(1) 題材の流れ

☆第1次・・・リズムあそびをしよう

「てをたたきましょう」「ぶんぶんぶん」「まねっこあそび」

教科書に出ている2曲を歌い、歌に合わせてカスタネットでリズム打ちをした。どちらの曲もよく親んでいる曲なので、歌いながらリズム打ちがスムーズにできていた。

「てをたたきましょう」では、「タンタタン」の部分を歌詞に合わせてカスタネット打ちができた。さらに、ほかの部分も歌に合わせてリズムを考え、みんなで同じリズムを打って楽しんだ。

「ぶんぶんぶん」は、♪ぶんぶんぶん はちがとぶ♪の部分でタン（四分音符）とタタ（八分音符）で考えさせ、歌に合ったリズムを感じ取ってカスタネットで叩いていた。また♪おいけの まわりに～♪の部分は、様々なリズムを考えさせ、友だちの考えたリズムをお互い聴き合う活動を取り入れた。同じフレーズでもいろいろなリズムで表現できることを感じていた。

さらに3時間目では、「まねっこあそび」を行った。手拍子やカスタネットでのリズム打ちだけではなく、様々な身体表現をした。例えば、「タンタンタンウン」のリズムに乗って（1）口で歌う（2）足を使う（足ぶみ・もも・ひざ）（3）ゲーチャキパー（4）ケンとパーで、身体表現する活動である。教師の打つリズムをまねることで、よく聴いて正確にリズム打ちしようという姿が見られた。四分音符、八分音符、四分休符をよく感じることができ、リズムを聴いて「タン」や「ウン」で言い表せる子どもたちがたくさんになった。



☆第2次・・・「しろくまのジェンカ」にあわせて

ジェンカのリズムは、子どもたちにとってとても親しみやすいものであり、子どもたちは好んで活動していた。「タン」と「ウン」で「しろくまのジェンカ」に合うリズムを考える活動を行ったが、すぐにジェンカのリズムを表現できた子がたくさんいた。また、どの子もすぐに音楽に合わせてジェンカのリズムを手拍子で叩いた。また、ジェンカの踊りをみんなで踊り、じゃんけん列車のようにどんどんつながって楽しく身体表現できた。

☆第3次・・・「ボディーパーカッションをつくろう」

これまでの活動をふまえて、四分音符、八分音符、四分休符の組み合わせでできるボディーパーカッションづくりを楽しんだ。より親しんで活動できるように、リズムカードを自分の手足の形をかたどって自分で作った。グループでの活動をする前に、隣同士2人組で4枚のカードを組み合わせ、リズム作りをした。この活動では、自分だけでなく友だちもできるリズムづくりをするように行った。2人で合わせる楽しさを味わうことができ、友だちもできるリズムをつくることも心がけるようになった。

グループでリズムづくりをするときには、今までよりリズムフレーズが長いので難しかったようだ。どこができないのか、どんなふうに変えるとできるようになるのかなど課題がた

くさん出た。そこで、おたすけカードとして作る時のヒントを与えるとリズムづくりを完成させることができた。最後の発表会では、友だちとそろえることの楽しさを味わい、とても満足した表情で発表していた。

(2) 創作活動について

第3次「ボディーパーカッションをつくろう」

1/4時・・・リズムカードを作り、2人でリズムづくりを楽しむ。

ボディーパーカッションをするためのカードを1人5枚ずつ作った。手拍子の四分音符(タン)と八分音符(タタ)、足の四分音符(タン)と八分音符(タタ)、四分休符の5種類である。

2人で4拍のリズムづくりをし、友だちと合わせる活動をした。2人で行うことで、つくったリズムを打てない子どもは、教えてもらいながら取り組んでいた。また、組み合わせて難しいと感じたらカードを変えて行うなどの工夫も見られた。最後に、全員つくったリズムを発表する場を設け、評価する場面とした。

2/4時・・・リズムカードを使って、グループでボディーパーカッションを考えつくる。

8人グループになり、1人2枚ずつのカードを使って4拍4小節のボディーパーカッションづくりをした。いくつかのきまりを与えて、自分たちでリズムを組み合わされるように指導した。カードを自由に組み合わせたあと実際に演奏してみたが、なかなか8人の息が合わなかったり、どんなふうに組み合わせるといいのか分からなかったりとなかなか難しいようであった。行き詰まっているグループには、ヒントを与えて支援すると何とか自分たちで曲を仕上げている。1時間で仕上げるのは困難であった。まだ仕上がっていない部分を残したまま本時を終え、次時でまだ仕上がっていない部分の創作を行うこととした。



3/4時・・・考えたボディーパーカッションをグループで身体表現できるように練習する。

前時で残った課題を確認したあと創作活動にとりかかった。子どもたちは、前時でやり残したことを早く完成させたいと意欲的に取り組んでいた。発表に向けてグループで練習を行ったが、全員でやったり4人ずつでやったりポーズだけ練習したりと自分たちで工夫して練習に取り組んでいた。

4/4時・・・自分たちで作ったボディーパーカッションをグループごとに発表する。

教室の中でグループごとに発表会を行った。簡単なステージを用意すると、子どもたちはなりきってボディーパーカッションを披露していた。そろった時のうれしそうな表情や友だちの発表を聴いてリズムを打つ姿などとてもいきいきとした姿で活動を楽しんでいた。

発表後、ワークシートでふり返りを行った。ワークシートでのふり返りは初めての取り組みだったので、誰でも書けるような4つの項目を設け、自由に書くスペースを設けた。子どもたちは、友だちのよいところを見つけ、文や絵で表していた。